

平成25年度要望活動

平成26年1月20日、新座市、清瀬市、所沢市及び練馬区で構成する「都市高速鉄道12号線延伸促進協議会」（会長・須田健治新座市長）は、地下鉄12号線（都営大江戸線）の光が丘駅からJR武蔵野線東所沢駅までの間の一体的かつ早期の整備着手について、東京都に対し要望を行いました。

藤井東京都技監からは、「地下鉄12号線の大泉学園町までの延伸については、導入空間となる都市計画道路補助第230号線の整備状況などを踏まえ、関係機関と一体となって、採算性を含めた事業化についての検討を引き続き進めていく。大泉学園町から先については、多額の事業費の確保や整備主体の問題のほか、特に需要確保の観点などから、沿線開発の推進など地元自治体の積極的な取組が必要であると考えている。こうした課題の克服に向けて、互いに協力しながら推進を図っていきたい。」とのコメントを頂きました。

協議会では、地下鉄12号線が早期に延伸されるよう、今後とも積極的に活動してまいります。

東京都への要望の様子



平成25年10月21日、新座市、清瀬市、所沢市及び練馬区で構成する「都市高速鉄道12号線延伸促進協議会」（会長・須田健治新座市長）は、地下鉄12号線（都営大江戸線）の光が丘駅からJR武蔵野線東所沢駅までの間の延伸について、上田清司埼玉県知事に対し要望を行いました。

知事からは、「新座市を中心としたプロモーションやまちづくりの青写真の作成など、延伸促進に積極的に取り組まれていることに感謝している。青写真の実現性について裏付けをよく伺った上で、練馬区や清瀬市の力添えも得て、何らかの形で東京都と意見交換をしていきたい。」とのコメントを頂きました。

協議会では、地下鉄12号線が早期に延伸されるよう、今後とも積極的に活動してまいります。

埼玉県への要望の様子



平成25年8月30日、新座市、清瀬市、所沢市及び練馬区で構成する「都市高速鉄道12号線延伸促進協議会」（会長・須田健治新座市長）は、地下鉄12号線（都営大江戸線）の光が丘駅からJR武蔵野線東所沢駅までの区間の一体的な整備による延伸の早期実現について、国土交通省関東運輸局に対し要望を行いました。

原関東運輸局長からは、「（延伸を実現させるためには、）沿線地域のまちづくりや需要喚起の取組等により、多くの利用客を確保できる仕組みづくりが非常に重要である。要望の趣旨については、しっかりと受け止める。」とのコメントを頂きました。

協議会では、地下鉄12号線が早期に延伸されるよう、今後とも積極的に活動してまいります。

国土交通省関東運輸局への要望の様子



原関東運輸局長（左から4人目）、
と協議会役員（右から4人目が須田新座市長）